



時事寸考

シーダ・ウォーク施設長・医師の吉田です。新型コロナ治療薬の現状をみてみましょう。新型コロナウイルスは正式には SARS-CoV-2 と呼ばれ、それが起こす疾患が COVID-19 です (HIV と AIDS の関係と同様)。SARS-CoV-2 はコロナウイルス科に属する RNA ウィルスで、同科にはヒトに普通感冒を起こす 4 種 (感冒の 10%~15% の原因といわれています) と SARS や MERS の病原体が含まれます。RNA ウィルスの増殖には RNA から RNA への複製過程が必要で、RNA ポリメラーゼというウィルスタンパクが関与します。他の RNA ウィルスに有効な RNA ポリメラーゼ阻害剤が SARS-CoV-2 にも効くのではない



かということで、アビガン (抗インフルエンザウイルス薬) やベクルリー (抗エボラ出血熱ウイルス薬) が用いられました。ベクルリーは 5 月に COVID-19 重症例への使用が特例承認されています。蛋白分解酵素阻害剤フサン (肺炎に用いられる) や駆虫薬イベルメクチン (大村博士がノーベル賞をとった薬品) が有効という報告もありますが効果は未確認です。COVID-19 の重症化には炎症性サイトカインの過剰産生が関与すると考えられ、IL-6 受容体抗体や JAK 阻害剤といった薬剤が検討されています。ワクチンについては情報が錯綜していますが、体が産生されても予防効果があるとは限らず (中和抗体ができる必要がある)、今後の臨床成績をみていく必要があるでしょう。

栄養科より今月の一押しメニュー

10月20日(火)の昼食には「彩ちらし寿司・すまし汁・豆乳茶碗蒸しそぼろあん・フルーツ(柿)」をご用意します。また「栗ごはん」や「さんまの塩焼き」など季節感のある献立を取り入れています。旬の食材で美味しい栄養のある食事をお届けします。



Cedar Walker 法律相談

意外と広い交通事故～降車時の転倒は交通事故か

自動車を運転する方は、交通事故に遭った場合に備えて自動車保険に入っていると思います。自動車保険には様々な特約をつけることができますが、その一つとして自身傷害補償特約というものがあります。人身傷害補償特約の特徴は、単独での交通事故を起こした場合や、自分の過失により交通事故を起こしてしまった場合でも保険金が支払われるものなので、大変便利です。

自動車保険の利用の可否は「自動車の運行に起因する事故」にあたるかどうかにより判断されます。「運行に起因する事故」という言葉を見ると、自動車が走行している場面に限定されるような印象をもちますが、エンジンが動いていなくても、ブレーキやハンドルなど何らかの装置を操作していれば、自動車の「運行」に当たると考えられています。

では、自動車からの降車した時に転倒して怪我をした場合には、自動車保険の請求をすることはできるでしょうか。公表されている裁判例によると、このような場合でも認められたものがありました。事案は、夜の午後9時ころ、タクシーから降車して1、2歩程度歩いたところで道路の段差でつまずいて転倒し、足を骨折したというものです。転倒したときには、同乗者がタクシーの車内で支払いをしていたところであり、タクシーのドアもまだ開いていました。



裁判所は、降車後の転倒が「運行に起因した事故」にあたる判断して、保険会社に保険金の支払いを命じました。その理由として、今回の転倒時には、タクシーのドアが開いたまま同乗者が支払いをしていた最中であつたことに着目し、タクシーが目的地で乗客を降車させるために停車する場合は、運転手が座席のドアを開け、乗客全員が降車し終わってドアを閉じるまでの間は、自動車の運行中に当たると判断しました。

このように、典型的な交通事故ではない場合でも自動車保険を利用できる場合があります。保険の約款は複雑ですから、ご自身で調べるには大変労力がかかります。保険に関する疑問についてもお気軽に弁護士にご相談ください。

言語聴覚士(ST: Speech-Language-Hearing Therapist) とは

言語聴覚士は言葉や聞こえなどのコミュニケーション機能に問題がある方、食べること・飲み込むことに問題がある方に対して専門的なサービスを提供し、支援するリハビリ専門職です。
10月からは2名の言語聴覚士が在勤しています。

言語聴覚士による機能訓練を希望する方は施設ケアマネジャーにご相談ください。



発声プログラム



声を出したり、話したりする練習をします

個別訓練



その方に合わせた内容で訓練を実施します

食事評価



飲み込みがうまくできるか、多職種で確認・評価をします

リハビリ訓練時の感染予防対策

リハビリの時も感染予防対策を心がけています。

入所(ショートステイ・ロングステイ)

2階のリハビリ室に人が集まることを避けるため、各フロアにリハビリベッドを配置し、フロア内での訓練を行っています。



各フロアにリハビリベッドを設置しました。



リハビリの前後にベッドの消毒をしています。



さあ、リハビリを始めましょうか。

がんばろうねえ。

ディケア

アルコールや清拭シートは必需品



ソーシャルディスタンスを確保するためにディケア室のレイアウトを変更。リハビリもいつもよりスペースを広くとって実施しています。



リハビリスペースの様子